

セキュリティショー2025 JEAS 特別セミナー

AI（映像等）にデータガバナンスを織りこむ重要性

2025年3月4日（火）15:30～16:30

司会：丸の内総合法律事務所 弁護士 木村 一輝 氏

Casley Deep Innovations 執行役員 黒岩 佳加 氏
演題1：小売・物流などでのWeb3.0の最新事例高千穂交易 マーケティング戦略推進部RSプロダクトチーム
チームマネージャー 佐久間 博之 氏

演題2：Veesion AI映像解析技術を利用した「万引き行動検知システム」

セーフィー 営業本部 第1ビジネスユニット 副部長 佐伯 穂高 氏
演題3：映像×AIによる店舗の課題解決

JEAS推薦図書

1. EAS機器 & カメラの工業会及び認定個人情報保護団体としてのJEAS

名称：工業会 日本万引防止システム協会（JEAS）
The Japan Industrial Association of Electronic Article Surveillance Machines.

設立：2002年6月

会員数：正会員47社、賛助会員13社、特別会員9団体

認定個人情報保護団体 対象事業者数：15社

事業：万引防止システムの普及を通じた社会貢献～ロス削減、安全安心～

認定：経済産業省・中小企業庁より工業会認定

2018年2月1日より、中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明[分野:EAS〔電子商品監視機器〕、防犯カメラ〔赤外線サーモカメラ含む〕]を行う工業会業務開始。

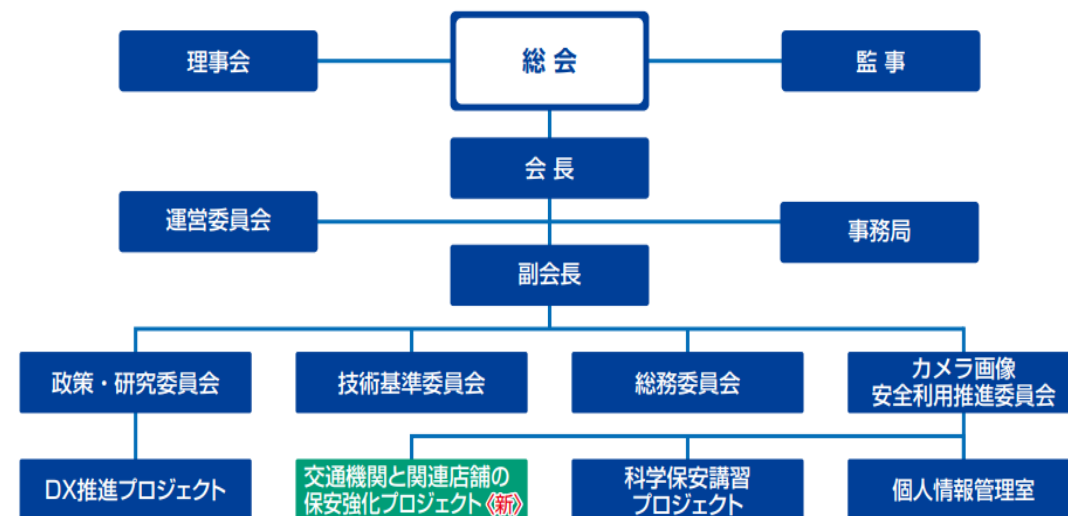
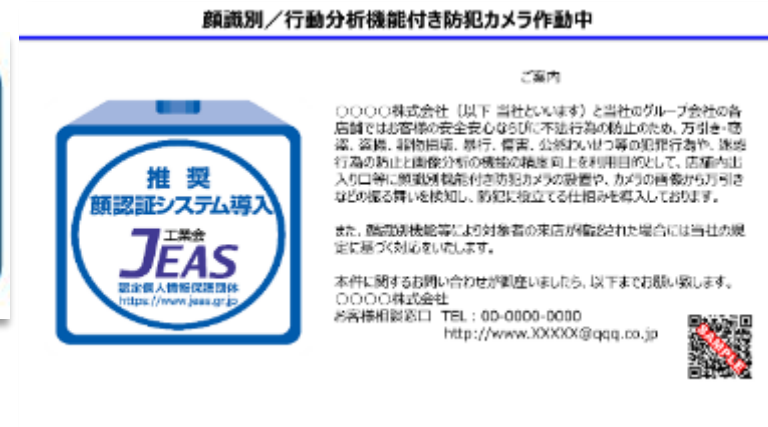
個人情報保護委員会 認定個人情報保護団体 認定

2020年9月18日理事会において、EAS機器と防犯カメラ（赤外線サーモカメラ含む）の工業会として認定個人情報保護団体に申請することを決定し、同日個人情報保護委員会に申請し、2020年9月30日に認定団体となる。

150ある工業会としては初！

個人情報保護指針：https://www.ppc.go.jp/files/pdf/48_jeas_shishin.pdf

AI利用の方針：<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20240712-2.pdf>



所在地：〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1
YOTSUYA TOWER 7階 TEL 03-3355-2322
infonew@jeas.gr.jp



2.顔識別機能付きカメラシステムなどのガイドやJEAS個人情報保護指針

 文字サイズ変更
個人情報保護委員会

検索 大きな文字 入力 検索 日本語 English

ホーム 委員会について 広報・お知らせ 個人情報保護法等 マイナンバー 国際関係 申請・手続・報告

個人情報保護委員会 > 広報・お知らせ > 犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について 資料一覧

犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について 資料一覧



犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について

「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について」資料一覧

個人情報保護委員会は、令和5年3月、「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について」（以下「本文書」という。）を決定しました。これは、令和4年1月に設置した犯罪予防や安全確保のためのカメラ画像利用に関する有識者検討会（座長：穴戸常寿 東京大学大学院法学政治学研究所教授）がとりまとめた報告書を審議の上、個人情報保護委員会から公表したものです。

本文書に関連する広報資料をご用意しましたので、ご活用ください。

広報印刷物



「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について」リーフレット
(令和5年6月)
クリックしてダウンロード (PDF: 4278KB)



「民間事業者向け カメラと個人情報保護法」パンフレット
(令和5年12月)
クリックしてダウンロード (PDF: 3412KB)

<法の理念と考え方>

法第3条は、「個人情報とは、個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであることに鑑み、その適正な取扱いが図られなければならない。」としています。これは、個人情報が個人の人格と密接な関連を有するものであり、人格尊重を旨としてその適正な取扱いを図られなければならないとの基本理念を示しています。当協会をはじめ、当協会の対象事業者においては、法の定める規律を遵守するにあたって、この基本理念を十分に踏まえ、法の目的を実現するため、個人情報の保護及び適正な取扱いをする必要があります。

また、当協会は、EAS（電子商品監視機器）及び防犯カメラ・赤外線サーモカメラの工業会として、上記の法の理念を踏まえて、カメラの利用について、法にのっとり、市民の理解が得られるように活動を行ってきました。近年、AIが発達する中で、市民が不安を覚えることが増えており、市民の理解を得ることの重要性は増しています。AI利用について市民の理解を得るためには、ステークホルダーへの丁寧な説明を行うとともに、地域生活者・第三者視点でのチェックが不可欠です。また、AIを導入した後であっても、適切な対応を行わなければ、市民の理解を失ってしまいます。対象事業者においては、上記の点を踏まえて、「職業専門家」としての矜持をもって、活動することが期待されています。

- 2 -



JEAS 個人情報保護指針

2024年7月1日



～防犯民主主義実現に向けて～
EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会


工業会 日本万引防止システム協会 (JEAS)

出典：https://www.ppc.go.jp/news/camera_related/

3. 工業会JEASの会員数と業種の変化

2011年総会員数26社 (EAS機器協議会→日本万引防止システム協会)

- 正会員
- 1 アイデックコントロールズ㈱
- 2 ACTUNI㈱
- 3 ㈱エスキューブ
- 4 エム・ケー・パビック㈱
- 5 ダンゼ㈱
- 6 ㈱コージン
- 7 ㈱ジーネット
- 8 シグマ㈱
- 9 ㈱ジャストコーポレーション
- 10 住友スリーエム㈱
- 11 西武産業㈱
- 12 高千穂交易㈱
- 13 タカヤ㈱
- 14 チェスコムアドバンス㈱
- 15 ㈱チェックポイントシステムジャパン
- 16 ㈱店舗ブランニング
- 17 ㈱トスカ
- 18 松尾産業㈱
- 19 ㈱三宅
- 20 ユニテカ㈱
- 21 ユニバルス㈱
- 賛助会員
- 1 セコム㈱
- 特別会員
- 1 NPO法人 全国万引犯罪防止機構
- 2 タグ&バック事務局
- 3 公益社団法人 日本防犯設備協会
- 4 一般社団法人 日本自動認識システム協会

EASと防犯カメラの工業会
認定個人情報保護団体

- ・国内外防犯カメラ企業
- ・顔認証やAIカメラ企業
- ・POSレジ企業
- ・広告関係企業
- ・棚卸企業
- ・保安警備企業
- ・RFID関連の企業

【正会員】
企業・団体名
アイアンドティテック（株）
IDECファクトリーソリューションズ(株)
AWL(株)
アクシスコミュニケーションズ(株)
アースアイズ（株）
(株)アジラ
アドセック(株)
(株)エイジス
N E Cソリューションイノベータ（株）
エム・ケー・パビック(株)
企業警備保障（株） NEW
(株)Casley Deep Innovations
(株)キャトルブラン
(株)吉林社
Dahua Technology Japan(合)
グローリー(株)
(株)ゴジョウ・ウェイズ
(株)KSM
(株)サイエンスアーツ
サクサ（株）
三和コンピュータ（株）
(株)JSS
(株)セキュリティデザイン
セーフィー（株）NEW

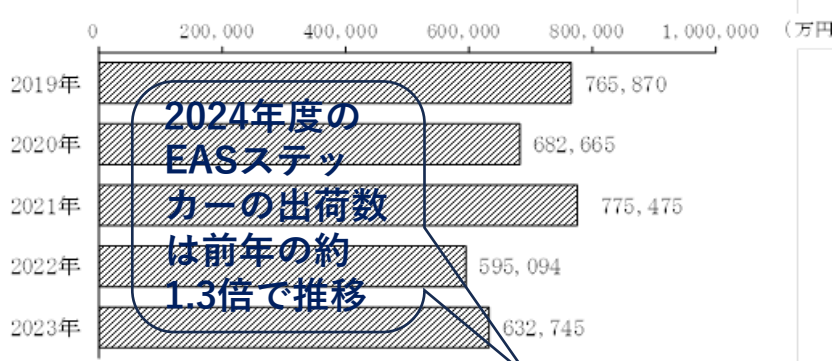
企業・団体名
CIA（株）
(株) GeoVision
シグマ(株)
セコム(株)
セフトHD（株）
ダイワ通信（株） NEW
高千穂交易(株)
タカヤ(株)
チェックポイントジャパン（株）
(株)店舗ブランニング
日本アクア開発（株）
日本NCRコマース（株）
日本電気(株)
ネクストウェア（株）
HIKVISION JAPAN(株)NEW
パナソニック コネクト（株）
富士通フロンテック（株）
ビブリオテカ・ジャパン（株）
HOUSEI（株） NEW
マイディキューブ（株）
(株)三宅
リアルネットワークス（株）
Loss-Controls（株）

【賛助会員】
企業・団体名
(株) アスタリスNEW
(株)アスラボ
亜細亜印刷(株)
(株) 自己啓発協会
(株)セキュアリンク
三愛化成商事（株）
チェスコムアドバンス(株)
(株) N I C C Oサポート
(株) 日本保安
(株) バトライトNEW
(株) ボックス・ワンNEW
(株) U A C J
(株) ロケット

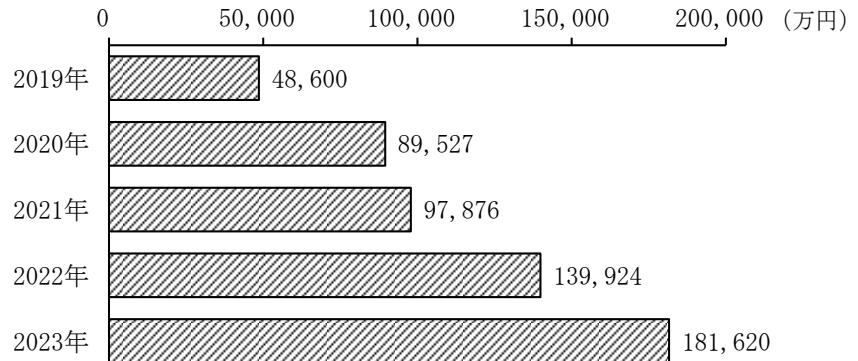
【特別会員】
企業・団体名
一般社団法人ソフトウェア協会
公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人リテールAI研究会
タグ&バック事務局
一般社団法人 ロスプリベンション協会

※50音順(2025年2月7日)

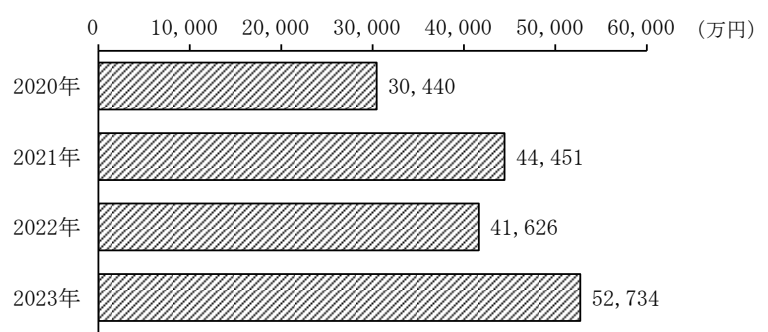
(参考)万引防止システムの市場規模に関する調査
EAS機器の売上推移



顔認証システムの売上推移



AIカメラの売上推移



市場が伸び悩んでいる原因は？

- ①PoCの進め方が不慣れなのか。
- ②データガバナンス作りが進んでいないからか。そのためデータガバナンスに力点をおく。

正会員数 47社

4. 画像と文字のAI 利用について社会のご理解をいただくためのお勧め事項 2024.7.14



画像と文字のAI利用について 社会のご理解をいただくためのお勧め事項 ～地域生活者の皆様などからのご理解・ご支持をいただくために～

画像や文字のAI利用が進む中で、各ステークホルダーに公正な情報をお伝えするためのポイントを纏めました。日々心に留め今後の事業に織り込んでいただきますようお願い致します。

監修：丸の内総合法律事務所 木村 一輝 弁護士

ステークホルダーへの丁寧な説明

- 1 顔認証や不審動作検知を使う理由を明確にする。防犯・防災はもとより、商業利用においても地域生活者の利便性向上に言及するようにしてください。組織内部や関係者や行政側担当者などから、正しい理解がなされるよう、もれなく丁寧に説明を実施してください。画像から文字を生成する場合も同じく利用目的を明確にしてください。
- 2 防犯利用と商用利用を併用する場合も、開始一カ月前より店頭告知やホームページなどに利用目的をあらかじめしてください。個人を特定している来客対応は本人同意を得ていることを明示し、属性分析だけの場合は個人情報をすみやかに消去することを明確に伝えてください。防犯利用は一般の方を対象にしているのではなく、具体的な罪名(万引や強盗など)をあげ、登録は犯罪を敢行した者だけに限定していることを説明してください。
- 3 使用するAI技術についてオントロジーをベースに、XAIやアノテーションを可能な限り公表し、システムがブラックボックス化していると思われていないよう努めてください。JEAS推奨の顔認証システムや推薦製品であることも付記ください。
- 4 サイバー攻撃等のセキュリティについて、ファイアウォール、デフォルト設定の廃止、VPN、Web3.0(秘密分散)、USB利用も含め、強力な暗号化やパスワード対策がされていることを忘れずに説明してください。



<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20241012.pdf>

導入後の適切な対応

- 10 導入後の定期監査の実施と具体的な効果検証の発表が一番重要であり、その組織体制も含め公表することが望ましいです。登録内容や保存期間への言及や消込の徹底も重要です。
- 11 問い合わせ先は明確に告知し、情報開示請求の受付方法も誠実さが伝わるよう心掛けてください。
- 12 報道内容に誤りや誇張があった場合の記事訂正をお願いする方策を知っておくと良いと思います。
- 13 対象システムおよび接続する機器において、個人情報の漏えい等の発生を認識し、または発生したおそれがあると判断したときは、直ちに委託先も含む関係者間で情報共有し、漏えい等の拡大または再発を防止するために必要な措置を講じてください。
- 14 サービス利用規約等に「不適切利用が確認された場合はシステムの利用を停止する」旨を記載し、実際にそのようなことが発生した場合は、適切な助言をお願いします。

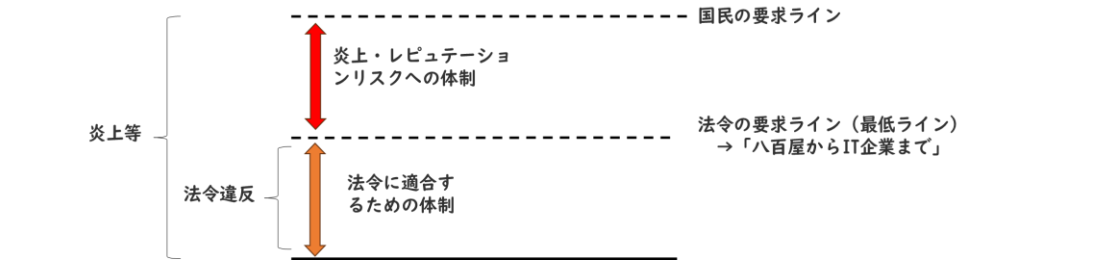
● 本文中の用語説明

オントロジー	知識ベースを構築する際、語彙や意味、関係性を他人とも共有し知識の再利用を容易にすることをオントロジーという。オントロジーは、もともと哲学用語で「存在論」を意味していました。目の前にある具体的なモノ(存在者)の個別的な性質を超えて、そうしたモノを存在させるメカニズム(存在)を問題化し考察する形而上学の一分野がオントロジーでした。転じて情報科学の分野では、「概念化の明示的・形式的な仕様」と定義されます。知識やデータ処理について記述する際のルールブック、仕様書が必要であるという考え方です。
アノテーション(annotation)	あるデータに対して関連する情報(メタデータ)を注釈として付与すること。XML等の記述形式を用いてメタデータをタグ付けするケースが多く、付与したメタデータやタグを指してアノテーションという場合もあります。

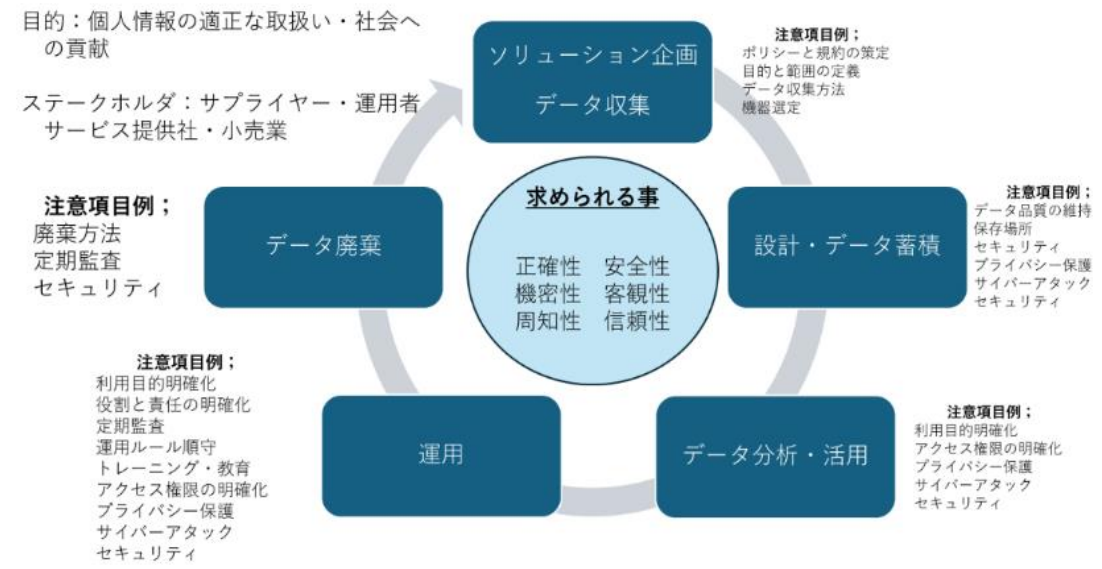
AI推進のためのデータガバナンス 熱海小嵐宣言

国際的な情勢として、先進国だけでなく、あらゆる国で、画像や文字のAI利用が防犯防災の中で進んでおります。同じく、省人化や効率化が小売業や介護や工事の現場などで不可欠な要素になっております。それを永続的に推進していくためには、データガバナンスを構築しなければなりません。

データガバナンスの重要性については、様々な説明がなされますが、1つの説明として、以下のような説明があります。つまり、法令に適合するための体制だけでなく、国民の要求ラインやニーズに合わせて、炎上・レピュテーションリスクへの体制作りが求められています。このことを日々心に留め今後の事業に織り込んでいただきますようお願い致します。



JEAS データガバナンスフロー



☆皆様との双方向でのコミュニケーションのために

お客様のニーズに応じて、映像データや連携する各種データを活用し、現状及び今後の課題解決のサポートを行い、目指す姿である安心・安全な社会作りへの貢献を実現するためには、データの適切な取扱いが必要不可欠です。映像や文字データが不適切に取り扱われるようなことがあれば、個人のプライバシーへの影響はもとより、監視社会への懸念、差別や偏見の助長、ひいては防犯民主主義などの私たちの社会の根幹を成す価値観への脅威にも繋がりがねません。データの適切な取扱いを確保するためには、プラットフォームを活用いただくお客様等の皆様にも、考え方を共有していただくことが不可欠です。そのため、私たちは、地域社会を含むステークホルダーの皆様との双方向でのコミュニケーションに努め、協力してAI推進のためのデータガバナンスの実現を目指します。個人の皆様の目線に立って、継続的な対話を行う等、透明性を高める仕組みを整えるよう努めます。

6. 第6回推奨顔認証システム検定制度の開催について

第6回推奨顔認証システム検定申込受付中 審査は2025年7月22日・23日
ご案内 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250221-1.pdf>



顔識別／行動分析機能付き防犯カメラ作動中



ご案内

〇〇〇〇株式会社（以下 当社といいます）と当社のグループ会社の各店舗ではお客様の安全安心ならびに不法行為の防止のため、万引き・窃盗、盗撮、器物損壊、暴行、傷害、公然わいせつ等の犯罪行為や、迷惑行為の防止と画像分析の機能の精度向上を利用目的として、店舗内出入口等に顔識別機能付き防犯カメラの設置や、カメラの画像から万引きなどの振る舞いを検知し、防犯に役立てる仕組みを導入しております。

また、顔識別機能等により対象者の来店が確認された場合には当社の規定に基づく対応をいたします。

本件に関するお問い合わせが御座いましたら、以下までお願い致します。
〇〇〇〇株式会社
お客様相談窓口 TEL：00-0000-0000
<http://www.XXXXX@qqq.co.jp>



JEAS自主認定制度

小売業向け万引防止用
推奨 顔認証システム検定制度

ガイドライン

内閣府外局 個人情報保護委員会では、2021年度より「万引防止用 顔認証システム」のことを「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステム」という表記をされております。

JEAS

工業会 日本万引防止システム協会

2020年03月01日	初版
2020年04月01日	第1.1版
2021年04月14日	第2.0版
2022年05月14日	第2.1版
2023年04月14日	第2.2版
2024年06月22日	第2.3版

7. 第5回科学保安検定講習会の開催について

第5回科学保安検定講習会開催 2025年9月25日
ご案内 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250221-2.pdf>





工業会
JEAS
認定個人情報保護団体



科学保安
LP推進店

科学保安検定講習会 修了証

JEAS 認定講習 No.2021-G001

交付年月日 令和3年10月22日

万 防 太 郎

〇〇〇〇年〇月〇日生

工業会 日本万引防止システム協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUKA 1-6-1

TEL 03-3355-2322 FAX 03-3355-2344

URL: <https://www.jeas.gr.jp>



受講者の声 (アンケートより)

- マスク対応の推奨顔認証システムは警備にとって心強い味方だ!と感じました。
- 市川ビルのロス削減の話(施設警備と保安警備の連携)がとても興味深く感じました。
- 防犯目的での範囲を超えないようにデータの取り扱いに注意したいと思います。
- 従業員・警備員と情報共有により、より安全な店舗さらには地域を構築できることを説明していきたい。
- 今回学んだことをお客様にも知っていたが、店舗に応じた改善策を提供できるよう取り組んでいきたいと思っています。

科学保安・LP推進店ステッカー貼付式

ステッカー1号店の件、誠に光栄な話です。

弊社内でも情報共有しましたところ、社長の田平も大変喜んでおりました。もっと大きなステッカーは無いのか!と申しておりました。(笑)

ビル内外にステッカー掲出の経緯や説明をポスター化させて頂き、掲示出来ればと考えております。

JEASの行動力と取り組みが、色々な波及効果を生み始めていると感じます。皆様が利益だけではなく、社会や業界全体のことを考えているからこそでしょう!

今後も益々のご活躍を期待しております。

(株)市川ビル 取締役 長田 泰文



警備室での認定審査



店頭での貼付式

株市川ビル
2021
11/16

JEAS 上米云
日本万引防止システム協会
認定個人情報保護団体



JEAS-20230215

登壇者パネルディスカッション

セキュリティショー2025 JEAS 特別セミナー
AI（映像等）にデータガバナンスを織りこむ重要性について

司会：丸の内総合法律事務所 弁護士 木村 一輝 氏

Casley Deep Innovations 執行役員 黒岩 佳加 氏
演題1：小売・物流などでのWeb3.0の最新事例高千穂交易 マーケティング戦略推進部RSプロダクトチーム
チームマネージャー 佐久間 博之 氏
演題2：Veesion AI映像解析技術を利用した「万引き行動検知システムセーフィー 営業本部 第1ビジネスユニット 副部長 佐伯 穂高 氏
演題3：映像×AIによる店舗の課題解決

JEAS推薦図書

9. 本日は視聴いただき有難うございました。

アンケートのご協力をお願いします。

SECURITY SHOW 2025年3月4日(火)～7日(金)
東京ビッグサイト

JEAS 特別セミナーをご視聴いただき有難うございました。
演題：AI（映像等）にデータガバナンスを織りこむ重要性 その事例は

今回の登壇者及び工業会 JEAS に「関心あり」に回答された方には、回のある登壇者及び工業会 JEAS より、Eメールを差し上げようと考えております。つきましては組織名、役職、お名前、Eメールの記載をお願いします。セミナー会場出口で回収しております。

① 司会：丸の内総合法律事務所 弁護士 木村 一輝

関心あり ☐ 関心なし ☐

自由記入： _____

② 演題1：小売・物流などの Web3.0 の最新事例

Casley Deep Innovations 株式会社 執行役員 黒岩 佳加

関心あり ☐ 関心なし ☐

自由記入： _____

③ 演題2：Veeion AI 映像解析技術を利用した「万引き行動検知システム

高千穂交機株式会社 マーケティング戦略推進部 RS プロダクトチーム

チームマネージャー 佐久間 博之

関心あり ☐ 関心なし ☐

自由記入： _____

④ 演題3：手軽に導入、手軽に防犯。クラウド型の顔検知 AI を活用した不正ロス対策

セーフィー株式会社 営業本部第1ビジネスユニット 副部長 佐伯 穂高

関心あり ☐ 関心なし ☐

自由記入： _____

⑤ 工業会 日本万引防止システム協会（JEAS）の活動に対して

関心あり ☐ 関心なし ☐

自由記入： _____

組織名： _____

部署・役職： _____

氏名： _____

Eメール： _____

※このアンケート内の個人情報（回答者名）は当工業会にて厳正な管理を行い、今後のご案内にて活用して参ります。有難うございました。

JEAS 個人情報保護規定 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20191205-1.pdf>

JEAS 工業会
日本万引防止システム協会
認定個人情報保護団体

JEASブースはビッグサイト東7ホールSS7093
です。皆様の会場ブースへのお越しをおまちして
おります。



本日の資料はJEAS・HPのNEWSペ
ージ2025年3月4日にあります。
<https://www.jeas.gr.jp/20250304.zip>



～防犯民主主義実現に向けて～